



Amazon Web Servicesと共同で次世代教育のための 「Student Day」を開催します

～最新ITスキルを学び、将来のキャリアをイメージするお手伝いをします～

2021年9月1日

第21055号

日本航空株式会社(所在地:東京都品川区、社長:赤坂 祐二、以下「JAL」)と株式会社JALインフォテック(所在地:東京都港区、社長:小山英之、以下「JIT」)は、アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社(以下、AWS)と、次世代教育の一環として、高校生以上を対象にクラウドの基本的な技術と航空業界におけるクラウドサービスの活用シーンについて学ぶことができる「JAL×JAL Infotec×AWS Academy: Student Day」を共同開催します。



JALはこれまでも、若年層向けの教育プログラム「空育®」や、「『未来の教室』STEAMライブラリー」への参画(*1)、JITによる社会とのつながりのあるプログラミング教育「STEAM EDU(*2)」を行い社会貢献活動に取り組んでまいりました。このたび、かねてより学生向けにクラウドコンピューティングカリキュラムを高等教育機関に提供してきたAWS Academy(*3)とともに、クラウドサービスを活用したSTEAM教育(*4)を行い、学生が将来のキャリアを考えるきっかけとなる試みを行うこととなりました。

(*1) 2021年3月1日付プレスリリース第20097号『経済産業省の「STEAMライブラリー」向けに教育コンテンツを開発』

<https://press.jal.co.jp/ja/release/202103/005972.html> 参照

(*2) 2021年6月29日付プレスリリース第21027号『小学校向け次世代教育プログラム「JIT STEAM EDU」の提供を開始』

<https://press.jal.co.jp/ja/release/202106/006114.html> 参照

(*3) AWSが開発し、高等教育機関向けに無償提供しているクラウドコンピューティング学習プログラム

<https://aws.amazon.com/jp/training/awsacademy/> 参照

(*4)「Science(科学)」「Technology(技術)」「Engineering(工学)」「Art(芸術)」「Mathematics(算数・数学)」の頭文字を取った現代における世界共通の教育手法。知る(探求)とつくる(創造)のサイクルを生み出す分野横断的な学び。

【Student Dayの概要】

「航空機運航のための飛行計画を立てる」という航空会社ならではの業務を通じて、クラウドの基本的な技術やその可能性について、楽しみながら学んでいただける3日間となっております。また、JALやAWSで働くスタッフとのコミュニケーションを通し、航空業界やIT分野でのキャリア形成について考えるきっかけを提供します。



【プログラムの概要】

①開催日時(予定)

- 第1弾 9月5日(日) 10:00~17:00
「IT/WEBシステムの基本知識入門セミナー」(AWSトレーナーによる講義)
「エアラインの日常業務からクラウドでできるイノベーションを探る」
(運航乗務員/客室乗務員/JITによるトークセッション)
- 第2弾 10月17日(日) 10:00~17:00
「飛行計画のWEBシステム体験」(JIT/AWSトレーナーによる共同講義)
- 第3弾 12月19日(日) 10:00~17:00
「第2弾で体験したWEBシステムの改善」(JIT/AWSトレーナーによる共同講義)

3回全てご参加いただくことでより理解が深まりますが、1回のみのご参加も問題ございません。

②開催形式

オンラインセミナー

③定員

第1弾:なし

第2弾、第3弾:約40名程度(確定次第、ホームページ上で公表する予定です)

④参加費用

無料

⑤対象

IT技術の基本的な知識からクラウドサービスのメリット、航空業界およびIT分野について興味のある高校生以上の学生のみなさま(学生を対象とした内容ですが、学生でない方でも視聴いただけます)

⑥申し込み方法

下記ホームページにアクセスのうえ参加登録をお願いいたします

<https://pages.awscloud.com/JAPAN-event-OE-Student-Day-20210905-reg-event.html>

JALグループは、今後も、将来を担う次世代への教育を通じて、大きく夢を描き、未来を創造できる人財の育成をお手伝いし、社会の進歩発展に貢献します。

以上



※Amazon Web Services、AWSは、米国およびその他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。